



吉美小だより

綾部市立吉美小学校
令和6年10月18日号

「人を大切にする」子ども・教職員のいる学校

<学校教育目標>

自立と貢献 ～夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成～

<教育スローガン>

「笑顔・元気・夢いっぱい そして 思い合い」

一致団結し、最高の運動会になりました！

9月29日「吉美地区市民大運動会」が開催されました。雨より気温（熱中症）を心配していましたが、当日は気温も上がらず、雨も朝に少し降った程度で、秋晴れではありませんでしたが、絶好の運動会日和となりました。

「一致団結し、最高の運動会にしよう!!」これが、今年度の児童会で決めたスローガンでした。熱中症予防のため、外での練習が本当に少ない中で本番となりましたが、子どもたちの輝いた姿、一致団結した姿を見ていただけたのではないかと思います。運動会後の全校朝会で子どもたちに話と重なりますが、運動会を振り返ってこんな「格好いい」「素敵だなあ」を見つけました。

エール交換

練習時からその声量に驚かされました。きっと6年生の、「必死さ」「一生懸命さ」が下学年に伝わったのだと思います。特に赤組の2年生の男子、そして黄組の2年生の女子の声の出方がめちゃくちゃ格好良かったです。一人は体を「エビぞり」にして、もう一人は、「これが私の最大の声だ。」と言わんばかりの姿が印象的でした。

競技

運動会で時々残念に思うことがあります。それは徒競走やリレー

なんかで、余裕で勝ると分かったら手を抜く人、逆に勝てないと分かって手を抜く人がいることです。でも、今年の吉美小学校では、そんな子が一人もいませんでした。格好良かったです。

表現

練習の時から見てきましたが、低学年も高学年も、運動会当日の演技が一番でした。それは、終わった後のみんなの顔が「やりきった」「持っている力のすべてを出し切った」という顔に見えたからです。「自分が一生懸命やってきたことに満足できる」こんな素敵なことはありません。

校長 塩尻 竹弘

一致団結した一生懸命な

地域のおっちゃんおばちゃんたちを応援する子どもたち

本校の運動会は「吉美地区市民大運動会」の中の児童の部としても位置付けられています。地域と共に行う運動会のよさは、何と言っても、自分が住む地域のおっちゃんやおばちゃんの姿がそこにあること、そして、一致団結した大人の姿がそこにあることだと思っています。そして、地域の人たちを応援する子どもたちの姿が現れ、交流したり、仲が深まったりすることもよさの一つです。今年度も一生懸命旗を振って、自分が住んでいる地域のおっちゃんおばちゃんを応援する子どもたちの姿が微笑ましく、同時に大切にしたいなと思えた瞬間でもありました。



障害者理解学習

今月に入り、障害者の理解学習を始めています。あやべボランティアセンターの方にお世話になり、「障害のある人と、共に助け合い励まし合いあって暮らしていこうとする態度を育てる」ことをねらいに、視覚障害・聴覚障害・身体障害・発達障害につ

いて学びます。これは3年生の視覚障害者理解の学習の様子です。

